

2 令和 8 年度事業計画

【総括】

公益財団法人宮崎県スポーツ協会は、より一層県民の利益の向上に寄与する公益法人の使命を自覚し、加盟団体等と連携して、定款に定める目的に沿って、公益目的事業を積極的に推進する。

- (1) 宮崎県競技力向上対策本部と連携して競技力向上に努める。
- (2) 加盟団体との意見交換を積極的に進め連携を強化する。
- (3) スポーツ界における不祥事防止及び安全面への配慮に向けた啓発と周知に努める。
- (4) 自主財源確保事業
賛助会員募集、オリジナルシャツ等販売事業、協賛広告募集、自動販売機設置者募集を行い、さらなる財源確保に努める。

1 競技力向上事業

2027年国民スポーツ大会を見据えた競技力の向上を図るため、関係機関団体と連携しながら、現状分析、事業等の検証と改善、本会、組織運営の強化、指導者の育成等に取り組む。

- (1) 宮崎国スポ強化戦略プロジェクト
 - ① 国スポ選手強化プロジェクト
 - ・国スポ選手強化プロジェクト（選手強化費・個人強化指定選手支援）
 - ・国スポ会場主要施設競技支援
 - ・トップチーム活用支援
 - ② 女性アスリート等活動支援プロジェクト
 - ・ネクストアスリート強化指定選手支援
 - ・スポーツ環境支援事業
 - ③ ターゲットエイジ選手確保・強化プロジェクト
 - ④ 大学、社会人スポーツ支援プロジェクト
 - ⑤ ふるさと選手活動支援プロジェクト
- (2) 国スポ選手等サポート推進事業
 - ・メンタルコーチ等派遣事業
 - ・パフォーマンスサポート事業
- (3) チームみやざき強化アドバイザー招へい事業
- (4) 宮崎ワールドアスリートプロジェクト事業
 - ・宮崎ワールドアスリートプロジェクト修了生支援事業
- (5) 加盟団体組織整備事業
- (6) 競技力向上推進員確保事業
- (7) 強化推進事業
 - ・競技団体との協議：12月
 - ・チームみやざきミーティングの開催
 - ・国民スポーツ大会強化指定証交付
 - ・競技団体、選手、指導者の視察、激励
- (8) その他
 - ・海外派遣選手等支援事業
 - ・国民スポーツ大会リハーサル大会派遣事業

2 国民スポーツ大会派遣及び関連事業

第80回国民スポーツ大会・第81回国民スポーツ大会冬季大会への選手派遣、帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保、派遣等、試合環境の整備を推進する。

- (1) 国民スポーツ大会九州ブロック大会派遣
 - ・前期競技：５月～７月、鹿児島県、熊本県、佐賀県で開催
 - ・後期競技：８月、鹿児島県で開催
 - ・冬季大会：１２月、福岡県で開催
- (2) 第８０回国民スポーツ大会・第８１回国民スポーツ大会冬季大会派遣
 - ・本大会：９月～１０月、青森県、山梨県、宮城県で開催
 - ・冬季大会：１月～２月、岐阜県、山梨県、岩手県、神奈川県で開催
- (3) コーチ派遣
- (4) ドクター、アスレティックトレーナー派遣

3 みやざき県民総合スポーツ祭事業

大会参加者を増加するための広報を強化し、競技者、観戦者の視点に立って開催時期、種目等の運営方法等を見直す。

4 スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み、地域のスポーツ指導者活用・養成の取組を支援する。

- (1) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員養成講習会開催
- (2) スポーツ指導者研修会開催：令和９年２月６日（土）

5 地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の意識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進する。

- (1) 生涯スポーツ普及活動支援事業
- (2) 加盟団体組織整備補助
- (3) 第１６回宮崎チャレンジマッチ開催
 - ・開催種目 自転車競技
 - ・開催期日 令和８年７月５日（日）
- (4) （名義後援）
 - ・加盟団体等の事業の後援（共催）
 - ・宮崎県市町村対抗駅伝競走大会 令和９年１月１１日（月）
 - ・宮崎チャレンジマッチ 令和８年７月５日（日）

6 スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー（ＡＴ）の養成や講習会を充実させ、ＡＴの確保、活用を推進する。

- (1) スポーツ医・科学委員会（会議）開催：年３回
- (2) ドーピング防止研修会開催：年３回
- (3) スポーツ相談
- (4) メディカルチェック実施：選手約１００名を対象に実施予定
- (5) 宮崎県スポーツ協会認定ＡＴ養成講習会、検定試験開催
- (6) ドクター、ＡＴ養成事業:ドクター、ＡＴを日本スポーツ協会公認講習会に派遣
- (7) 第８０回国民スポーツ大会・第８１回国民スポーツ大会冬季大会への帯同ドクター、ＡＴ派遣

7 スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務の適正化を図る。

- (1) 一般対象：スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞、推進賞
- (2) 小中高生対象：スポーツ優秀賞・奨励賞
- (3) 国民スポーツ大会表彰
- (4) スポーツ少年団表彰
- (5) スポーツ指導者表彰

8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び他のスポーツ団体との連携など、課題解決に組織全体で取り組む。

- (1) 競技別交流大会開催、同派遣
- (2) スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会開催：年2回
- (3) リーダー研修会開催、同派遣
- (4) 指導者研修会開催、同派遣
- (5) 母集団育成研修会、ブロック別研修会開催
- (6) 日独スポーツ少年団交流事業（受入）

9 総合型地域スポーツクラブ事業

日本スポーツ協会登録クラブを対象とした連絡協議会の運営を中心に、総合型地域スポーツクラブの活性化と発展に取り組む。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
- (2) クラブアドバイザー配置による活動支援
- (3) 登録認証制度の運用による自立支援
- (4) 「ひなたスポーツフェスタ」の開催

10 広報及び記録収集、活用事業

本会及び加盟団体の活動と本県スポーツに対する認識向上のため、あらゆる機会を利用して、情報を発信する。

- (1) 広報
 - ・広報機関誌発行：年1回、1,800部配布
 - ・スポーツイベントHP掲載：随時更新
 - ・HP、アプリ運用：加盟団体との連絡手段での活用
 - ・Instagram等の各種SNSを活用した即時の情報発信
 - ・国民スポーツ大会への関心を高めるために、ポスターやSNS等を活用した啓発活動に努める。
 - ・広報機関誌「宮崎スポ協」や公式HPを利用し、本県スポーツ施設の利用促進等のため情報発信
- (2) 記録収集、活用
 - ・本会主催事業等の活動記録及び主な本県スポーツ情報を収集し、県民に提供する。

11 その他

都道府県スポーツ協会連合会事務局職員研修会の本県開催（12月3日（木）～4日（金））の円滑な運営に努める。